

E 19 子どもの家事参加態度に作用する要因に関する研究(第3報)  
 鈴木敏子(高知大教育) — 父子関係の側面から  
 ○西本恵子(高知学園短大) 舟橋久子(高知大教育附養)

目的. 子どもの家事参加が乏しい実態が指摘される一方、家事労働の子どもの身心の発達に与える意義が見直されている状況に鑑み、われわれは、どのような生活背景が子どもの家事参加を規定しているものかつきとめ、家庭教育、親子関係の留意点を見出そうとしている。これまで2報にわたって、主体(子ども)の要因、家族関係的要因、生活様式・環境の要因に分け、いくつかの要因を見出し得た。今回は、家族関係的要因の内、父親の家事参加の状況が子どもの家事参加の状況に一つの大きな影響を与えていたことに注目し、父子関係の実態をさらに追究する。

方法. 第1報と同じ。高知市内の住宅化地域の小学校1校、農村的地域の小学校2校の、5・6年生の父と母と児童、および、1・3年生の父と母を対象に、1979年12月初旬に実施したアンケート。分析数: 5・6年生316組、1年生159組、3年生159組。

結果. ①一例は右下表にみられるように、遊び、勉強、テレビ、休日の過ごし方など、生活の諸行動を父親とよく一緒にしていると思える子どもの方が、父親との家事協力の度も高い。②他に、子どもの父親に対する理解度、信頼感などとも相関している傾向がみられる。③さらに、父との家事協力度が高い子どもの方が、父との共同行動を一層望んでいる傾向もある。④父親の家事参加の状況が子どもの家事参加の状況を規定する一要因になっていたが、それだけでなく、以上のように、父子関係の多面にわたって積極的な関係が保たれていることが認められる。

家事	遊び	計	よく一緒に遊ぶ	時々一緒に遊ぶ	あまり一緒に遊ぶ	全然一緒に遊ぶ
計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
よく一緒に遊ぶ		4.7	29.6	6.2	0.9	—
時々		41.1	51.9	54.9	34.5	21.7
あまり一緒に遊ぶ		38.9	14.8	30.1	48.7	48.3
全然		14.9	3.7	8.8	15.0	30.0